

県内復興・経済日誌（2022年11月）

2日

《10月倒産件数、負債総額ともに大幅増》

帝国データバンク福島支店が発表した10月の県内企業倒産状況によると、法的整理による負債額1,000万円以上の倒産件数は8件（前年同月比6件増）、負債総額は17億2,000万円（同15億6,300万円増）と、倒産件数、負債総額とも前年同月から大幅に増加した。

4日

《福島市「四季の里」、**「恋人の聖地」に認定**》

福島市は、同市荒井にある公園「四季の里」が、プロポーズにふさわしいロマンチックなスポット「恋人の聖地」として認定を受けたと発表した。NPO法人地域活性化支援センター（静岡市）が認定しており、県内ではあぶくま洞（田村市）に続いて2カ所目となる。

8日

《**「南郷トマト」2022年度販売額過去最高**》

南会津地方のブランド農作物「南郷トマト」の2022年度の販売額が、出荷が終了した8日時点で10億9,100万円となり、過去最高となった。南郷トマト生産組合は、水害や猛暑などの影響で全国的に品薄となった中、安定的に供給できたことが要因とみている。

11日

《**郡山市「ビッグツリー」、イルミネーションアワード9位**》

全国の夜景観光士が選ぶ第10回イルミネーションアワードが発表され、郡山市の「ビッグツリーページェント・フェスタ」がプロフェッショナルパフォーマンス部門で9位となった。県内で10位以内に入るのは今回が初めてで、幻想的な世界を生み出す演出が支持された。

12日

《**国内初「UFO フェスティバル」開催**》

福島市飯野町で未確認飛行物体（UFO）ファンが一堂に会する国内初めてのイベント「UFO フェスティバル2022」が開催された。いいの街なか活性化委員会が、地域づくりの拠点となっている UFO ふれあい館の開館30周年を記念して企画したイベントで、宇宙人仮装パレードでは宇宙人姿の参加者が多くの来場者を

楽しませた。

15日

《**福島空港、上半期乗降客数81,972人**》

福島空港ビルが福島市で開いた取締役会で、福島空港の上半期（4月～9月）の乗降客数は前年同期と比べ約2.5倍の81,972人だったと報告した。新型コロナウイルス感染拡大の影響による行動制限がなく、定期便が通常通り運航していることやチャーター便が増えたことなどから乗降客数が回復した。

《**本県への移住相談件数、過去最多**》

総務省は、全国都道府県と市町村が2021年度受け付けた移住に関する相談件数を発表した。市町村分を含めた都道府県別で本県は13,599件に上り、2年連続の3位となった。前年度から1,328件増え、過去最多を更新した。県によると、東京圏からのアクセスの良さや浜通り、中通り、会津地方で異なる居住環境が人気を集めた。

16日

《**国内初の水酸化リチウム製造工場、楡葉町に完成**》

楡葉町の楡葉南工業団地に建設されていた国内初の水酸化リチウム製造工場が完成し、竣工式が行われた。世界的な電気自動車の普及に伴い、車載向けリチウムイオン電池の正極材の原料となる水酸化リチウムの需要が高まる中、国内唯一の製造工場に期待が集まる。

29日

《**県内養鶏場で高病原性鳥インフル確認**》

県は、伊達市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザウイルスの発生を確認したと発表した。県内の養鶏場での確認は初めてとなる。県は養鶏場で飼育されている約17,000羽の殺処分と埋却を開始した。併せて防疫措置として、制限区域の設定と消毒ポイントを設置した。

30日

《**バイオマスプラスチック工場、浪江町に完成**》

コメなどを原料にしたバイオマスプラスチック「ライスレジン」を製造するバイオマスレジン福島の工場が、浪江町北産業団地に完成した。ライスレジンの製造を通じ二酸化炭素の削減、石油資源の使用抑制に加え、東京電力福島第一原発事故の被災地にある遊休農地活用を図る。